

天候の変化が激しく、疲れも出やすい昨今です。こんな時こそ早寝・早起き・朝ご飯。自ら健康管理を。

さすが・・・



これはある日の登校の様子。「さすが！」と思いました。

道の端を1列で歩いています。もちろん、気持ちのいい挨拶をして、青信号で渡った後です。もちろんそれらも素晴らしいですが、注目してほしいのは、**自然と列の前側は低学年、後ろ側が高学年になっているところ**。上級生が下級生に先を譲り、後ろから見守る光景。自然にできていいねえ。

健康タイム

身体測定の後保健指導を行いました。今回のテーマはメディアとの付き合い方。「メディアは1日2時間・夜9時までというルールにあなただは賛成？反対？」と聞くと、子どもたちは圧倒的に反対の声。理由は、ゲームができない・楽しくない・等。

子どもたちは楽しさを求めるあまり、メディアが生活に入り込みすぎている現状が伺えました。その後メディアの危険性を学びましたが、やはり大人が見守ってあげる必要がありますね。適度な使用となるように、各家庭で話し合いや実践をお願いします。



笑顔でパチリ

卒業アルバム用の写真を撮っていました。笑顔の個人写真。好きな場所を選んでのグループ写真。もう卒業に向けてのカウントダウンは進んでいるんですね。



いろんな情報を分かち合う

理科室や各教室では、夏休みにがんばった自由研究の発表会が行われていました。

みんな様々なテーマで研究を進めており、「この生き物の生態は・・・」「□と△を混ぜると、○ができます。」「ずっと観察して〜がわかりました。」「この装置を使うと〜なことができます。」「・・・と、その成果を堂々と発表すると、あちこちから「へえ。」「すごいね。」と称賛の声が返されていました。どの研究もしっかりまとめてあり、発表を聞いて面白かったです。みんなよくがんばったね。



ここにもアートが

授業中、廊下で何かをしている子どもたち。何をしてるのかな？と思ったら、図工の授業でした。いろいろな物に紙をあてて色鉛筆でこすると、表面の違いで様々な模様が浮かび上がってきます。廊下もアートなんですね。



認知症サポーター養成講座

「ささえりあ」の方々を迎え、4年生が認知症の学習をしました。

- ・認知症はだれにでも起こりうる
- ・人によって症状は様々
- ・やさしい声かけが大切

と知り、子どもたちは「自分だったらこうしてほしいな。」「支えてあげることで進行を遅らせることができるのでは。」と自分事として考えていました。

ささえりあの方々から「清水小の子はやさしいですね。」と言われ、とってもうれしかったです。私もそう思います。



児童集会



今週の児童集会の様子ですが、いつもとはちょっと違います。学級ごとではなく、縦割り班で整列しています。

異年齢集団での活動はとても大切です。同じ年齢だけの生活は学生の時だけで、社会は様々な年齢や立場の人と協働していきます。今まではレクリエーションが主でしたが、その活動を広げようと、このような取り組みを始めました。縦割り班で他学年とのふれあい、上級らしさを学んでほしいと思います。

先生たちも AI を学ぶ

あっという間に AI (人工知能) が身近なものになりました。AI で利便性や可能性が広がることは確かです。先生たちも時代に取り残されず、子どもたちに指導できるように研修会を開いています。どんなことに活用できるか？留意点は？達人めざしてがんばります。



日課にストレッチを

柔軟性は、「足が速い」「力が強い」「ボール運動が得意」などと同様に、運動の大きな要素です。柔軟性があると、動きがしなやかになる・疲れにくい・大きなケガや関節痛を防ぐなどの良い点があります。低学年のストレッチを見ると、みんなまだ柔らかい。でも普段から動かさないと年齢が上がると固く・家庭でも(大人も)ストレッチをしてみても？



個人情報保護のため、写真は鮮明度を落としています